

可児高通信

平成29年
3月号

高校生議会

可児市議会で発表

二月九日（木）に、本校が進めている地域課題解決型キャリア教育の一環として、可児市議会で開かれた「高校生議会」に、本校の一、二年生三五人が参加しました。第一部は、委員会室で「地域医療」予



育て」行政」の3つのテーマに分かれ、市議会議員や市職員、縁塾関係者、大学生の方々とともに話し合いを行いました。「地域医療」では、産婦人科と小児科のどちらを充実させるべきかを焦点にして議論し、「子育て」では、出産前からの支援と高校生までの支援のどちらを重要視するべきかを焦点に、「行政」では、失業者への支援と起業したい人への支援のどちらを重要視するべきかを焦点に活発な意見交換が行われました。第二部は、本会議場において、可児市長と市議会議員の皆さんの前で、実際の市議会さながらに議長さんが司会進行され、第一部で話し合ったことをグループごとに発表しました。高校生ならではの斬新な意見もあり、皆をうならせていました。生徒たちは、議員席にも座ることができ、とても良い経験ができたと思います。

二月九日（木）に、本校が進めている地域課題解決型キャリア教育の一環として、可児市議会で開かれた「高校生議会」に、本校の一、二年生三五人が参加しました。第一部は、委員会室で「地域医療」予



和泉宗家 狂言

芸術鑑賞会

二月一五日（水）に、可児市文化創造センターで、一、二年生全員が参加して芸術鑑賞会がありました。今年度は、和泉流宗家による「狂言」でした。始めに和泉元彌さんから狂言の解説をしていただき、和泉淳子さんと三宅糖九郎さんによる「盆山」を鑑賞しました。次に和泉元彌さんも加わった「萩大名」を鑑賞しました。最後に、生徒四人が舞台上がり、狂言の稽古を体験しました。正座やお辞儀の仕方、立ったときの基本姿勢と歩き方などを教わり、別れの挨拶に使う「さらばさらば」の練習を客席も一緒にやりました。初めて観たけれど、すごく面白くてまた観たいと本当に思いました。絶対大人になったら観てきます。」狂言は難しそうでも、おもしろいのかなあと思っていたけれど、実際観ると、ずっと昔の人と同じ笑いを体感できているような気がして、おもしろかったです。」と生徒も日頃観る機会の少ない古典芸能にふれ、とてもよい経験になったようです。



二月一五日（水）に、可児市文化創造センターで、一、二年生全員が参加して芸術鑑賞会がありました。今年度は、和泉流宗家による「狂言」でした。始めに和泉元彌さんから狂言の解説をしていただき、和泉淳子さんと三宅糖九郎さんによる「盆山」を鑑賞しました。次に和泉元彌さんも加わった「萩大名」を鑑賞しました。最後に、生徒四人が舞台上がり、狂言の稽古を体験しました。正座やお辞儀の仕方、立ったときの基本姿勢と歩き方などを教わり、別れの挨拶に使う「さらばさらば」の練習を客席も一緒にやりました。初めて観たけれど、すごく面白くてまた観たいと本当に思いました。絶対大人になったら観てきます。」狂言は難しそうでも、おもしろいのかなあと思っていたけれど、実際観ると、ずっと昔の人と同じ笑いを体感できているような気がして、おもしろかったです。」と生徒も日頃観る機会の少ない古典芸能にふれ、とてもよい経験になったようです。

第三七回強歩大会

花フェスタ記念公園

可児高校恒例の強歩大会が、二月四日（土）に花フェスタ記念公園で行われました。今年も、美濃加茂市のゆるキャラ「かも美ちゃん」と「かも丸君」と



可児高校恒例の強歩大会が、二月四日（土）に花フェスタ記念公園で行われました。今年も、美濃加茂市のゆるキャラ「かも美ちゃん」と「かも丸君」と



タートしました。一周5kmのコースを男子は三周一5km、女子は二周一〇km走りました。体育の持久走の集大成とあって、自分のベストの走りをめざして一生懸命走りました。男子は、二年の田口裕也君が優勝し、女子は神出汐里さんが昨年続き連覇しました。コースの途中では、PTAの役員の方の給水や保護者の方の応援にも力づけられました。どうもありがとうございました。

さらば、学び舎

卒業式



三月一日（水）、第三五回卒業証書授与式が行われ、三五期生二九八名が、巣立っていきました。当日は、県議会議員や可児市教育委員会事務局長、中学校の先生、同窓会会長、PTA役員の方々もお祝いに来てください。式は厳粛な雰囲気の中に進み、在校生からの「送辞」、卒業生の思いのこもった「答辞」、最後に歌った校歌は力一杯の声で高らかに歌い上げられ、実に感動的で素晴らしい卒業式でした。可児高校で過ごした三年間は、とても充実したものだったと思います。ここで培った忍耐力や粘り強さ、他人への思いやりは、これからの人生で必ず生かされると信じています。家族や地域の人々への感謝も忘れず、社会に貢献していただけることを期待しています。

可児高通信

平成28年
12月号

学校開放

岐阜県ふるさと教育週間

一月一〇日（木）の午後、地域や保護者の方々
に可児高校の授業や様子を見ていただくように学校
を開放し、七一名の方がおいでくださいました。ま
た、他県の高校からも八名の方がおいでになり、授
業をご覧になった後、主催者教育推進事業の発表会
に参加されました。保護者の方からは「生徒が熱心
に集中して取り組んでいて、授業に対する態度がす
ばらしいと思いました。」先生の話がとても丁寧で、
分かりやすいと思いました。子どもがしっかり授業
を受けているのを見て、安心しました。「グループ
になって生徒同士教え合ったりして、楽しみながら
授業が進んでいて良かったです。」廊下、トイレ、
教室など掃除が行きとどいていて、とても清潔な印
象を受けました。「などのお声をいただきました。来
年も同じ時期に行いますので、是非、可児高校にい
らして、生徒や学校の様子をご覧になり、ご意見
・ご感想をいただきたいと思ひます。

世界が広がるはつらつ講座

「はつらつ講座」はキャリア教育の一環として、
様々な分野の専門家による講義や授業を通して生徒
の視野を広げたり、進路決定の一助にしたりするこ
とを目的に行われています。

一月一日（水）には、岐阜経済大学の山田善久
先生から、『ヨーロッパのことばと文化』というテー
マでご講義いただきました。ヨーロッパは、面積で
アメリカ合衆国の約三分の二に過ぎませんが、その
中に四〇以上の独立国家がひしめき、言語集団は七
〇以上に及びます。この講義では、ヨーロッパのこ
とばと文化の多様性の一端を、ドイツを中心に学び



ました。二五日（水）には、スーパー土木技術者・
徳川家康』について名古屋大学の戸田祐嗣先生がご
講義くださいました。大学における「教育・研究内
容」を紹介していただき、先生の研究分野である「河
川工学」に関するお話として、徳川家康から昨年の
鬼怒川水害までを題材とした「これからの川づくり」
についての講義を聞きました。
一七日（木）には、教員を目標
す人へ』というテーマで小中学
校や特別支援学校に勤務してい
る卒業生と岐阜県教育委員会担
当者を講師に招き、教員を目指
す生徒を対象に本校を卒業して、
学校現場で教壇に立っている先
生方からお話を聞きました。

薬物乱用防止講座

保健講話

一月二五日（金）に、薬剤師の瀧井幸子先生と
保護司の森田由美先生を講師にお迎えし、「薬物乱用」
について講話をしていただきました。瀧井先生から
は、「薬物を乱用することで自分の身にどのような症
状がでるのかなどについて、森田先生からは、この
地域の現状や薬物乱用によってもたらされる自分自
身、家族、社会への影響についてお話をしていただ
きました。生徒は、今日の講話を聞いて、一回だけ
でも使ったら元に戻れない恐ろしいものだと思っ
て分かった。」危険な薬物を高校生でも簡単に手に入
れられる環境であることに驚いた。今までは他人事
で自分はまったく関係がないものだと思っ
ていた。これから意識を変えていかなければならな
いと思っ
た。」などの感想をい
だいており、薬物の恐
ろしさを再認識しました。

可茂特別支援学校 「こりん祭」に参加

一月二六日（土）に、生徒会執行部一五名が、可
茂特別支援学校文化祭「第六回こりん祭」に参加
しました。五年連続の参加で、お互いの交流が続い



ています。割り箸・牛乳
パックを利用した竹とんぼ・バル
ーンアート・折り紙などの、作っ
て遊べる四つのブースを設け、可
茂特別支援の児童・生徒や地域の
一般の子どもたちに、作り方や遊
び方を教えながら交流しました。
たくさんの子



スポーツの秋・文化の秋 部活動も頑張りました

九月から一月に行われた新人戦や選抜大会、総
合文化祭の主な結果をお知らせします。

岐阜県高等学校新人大会ウエイトリフティング競技

佐藤悠莉 女子63kg級 優勝 東海大会出場

千葉勇貴 男子69kg級 二位 東海大会出場

加藤いぶき 女子58kg級 二位 東海大会出場

岐阜県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

玉置楓里 男子やり投げ五位入賞 東海大会出場

神出汐里 女子八〇〇m五位入賞 東海大会出場

岐阜県高等学校テニス新人大会

男子団体 三位

高等学校弓道選抜大会岐阜県予選大会（個人戦）

小倉悠太郎 那須由理 準決勝進出

岐阜県高等学校新人大会自転車競技

山内溪太、佐藤晴、瀬瀬壮太郎

チームスプリント 二位

山内溪太 1kmタイムトライアル 三位

岐阜県高等学校総合文化祭書道展

共同作品部門 優秀賞 池田ほのか 特別賞

可児高通信

平成29年
1・2月号

大学入試センター試験

頑張れ三年生！

一月一四日（土）・一五日（日）に名城大学都市情報学部で大学入試センター試験が実施され、三年生二八七名が受験しました。

試験当日は、前日からの雪で五、六センチほどの積雪があり、毎年恒例の受験生が中庭に集合して行く「頑張るぞコール」はできませんでしたが、大学入試は皆で支え合う団体戦だということに代わりはありません。初日は、地歴公民・国語・英語の三教科。国語が昨年に比べてかなり難しかったようです。二日目は理系科目の試験です。数学は昨年より易しくなったようでした。翌日からの自己採点、その結果を受けての担任との懇談、最終受験校の決定、そして出願、と生徒達にとっては慌ただしく落ち着かない一月でした。そして今は、二月二五日（土）



の二次試験に向けて最後の追い込みに入っています。毎日登校して頑張っている姿を見ると、生徒たちの三年間の努力の成果が実り、無事、志望校に合格してくれることを願ってやみません。

センター試験前の一月一日（水）

には、生徒会による激励会があり、生徒会長からの激励の後、有志によるコンサートやミナモダンスで三年生を激励し



ました。また前日の一月三日（金）には、三年生の先生方からの激励会がありました。センター試験当日の注意点や各教科ごとのアドバイスを先生方がユーモアあふれる寸劇で示し、受験生の緊張をほぐし、実力を出し切ってほしいという先生たちの気持ち十分に伝わったと思います。

「ひびきあいの日」

人権映画鑑賞会

人権について考える「ひびきあいの日」の取組として、二月九日（金）に、いじめを題材とした映画「青い鳥」を全校生徒が体育館で鑑賞しました。いじめの起こった中学校に、吃音障がいのある臨時教師、村内（阿部寛）が赴任し、生徒や、教師たちに影響を与えていくという話です。いじめとは何なのか、どこからがいじめなのか、またいじめに対して自分たちは何をすればよいのか、何をしなければいけないのかを、考えさせられる映画でした。生徒の感想には、学校ではいろんな人と関わりをもちます。気持ちのすれ違いや、悩みをひとりで抱え込むことがないように、まずは自分を大切にしていきたいやりの心をもって相手に接し、仲間を知っていきたいです。」などと村内先生の「本気の言葉」を本気で聞くことの大切さが伝わって、どの生徒もいじめや差別など人権に関して真剣に考え、様々な思いにあふれた感想が寄せられました。

きれいになったね！

年末清掃活動

二月一五日（木）を中心の活動日として、MSL（マナーズ・スピリット・リーダーズ）や部活動の生徒など約一〇〇名が参加して、清新坂・はつらつ坂及び学校周辺の道路やお世話になっている施設などの清掃を行いました。地域清掃は、五月下旬の全校一斉美化活動と併せて年に二度実施しています。この時期は、落ち葉がとて多く、清掃にも力がは

いりました。また、道路に落ちている空き缶や紙くずの多さに驚き、清掃の意義を感じました。きれいに施設を利用することは勿論、今後も環境美化に取り組んでいきます。

おはようございます！クリスマス挨拶運動



二月二二日（金）朝、清新坂とはつらつ坂の校門で、生徒会役員がサンタクロース姿に扮して、挨拶運動を行いました。一〇月のハロウィンでも、それぞれが思い思いの姿に変装して挨拶を行いました。登校してきた生徒達は、思わぬ出迎えに、びっくりしながらも笑顔で挨拶を返していました。

東海大会優勝

ウェイトリフティング部

一月二二日（土）、二三日（日）に静岡県立科学技術高校で、第二二回東海高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会が行われ、二年の佐藤悠莉さんが女子63kg級で優勝しました。また、男子69kg級の千葉勇貴君と女子58kg級の加藤いぶきさんも三位に入賞しました。

可児駅伝優勝おめでとう！

陸上競技部

二月一日（日）に行われた第五九回可児駅伝競走大会の一般・高校女子の部で陸上部が優勝しました。男子も一般・高校男子の部で、二位に入りました。女子は二年連続の優勝です。また、神出さん、美濃島さん、渡邊さん、細田さんが区間賞を取りました。おめでとうございました。

出場選手

女子 神出汐里さん、美濃島あかねさん、渡邊莉麗さん、細田紗耶華さん、貴島まみさん
男子 加藤善光君、石原隼希君、島津遼也君、松田洋昌君、遠藤太稚君、田口裕也君

可児高通信

平成28年
11月号

授業公開及び秋のエンリッチ報告会

可児高校は、昨年度までの三年間、学校改革「リーダーディング・プロジェクト」の一環として、授業改善アクティブラーニングの導入に取り組み、全国から注目され、多くの学校が視察を希望されますので、月に一回の学校訪問日を設定しています。一〇月は一四日（金）に実施し、全国から五一団体一七名の方が視察に訪れました。授業参観三時間、授業研究会一時間、主催者教育推進事業報告会一時間という日程でしたが、参加された方々は、熱心に授業を参観され、また活発な話し合いが行われました。



また、この日は、地域課題解決型キャリア教育の発表も行われました。こちらは、NPOの「縁塾」が地域と学校の間に入って、生徒が地域の課題を学んだり、大人と話し合う場を設定してくれています。学校見学の後は、場所を可児市総合会館に移して、今年度上半期のエンリッチ活動実績報告が行われました。本校の生徒四名も参加し、一年生二名と二年生一名が、夏のオープンエンリッチに参加した感想や今後の抱負について、二年生一名が、主催者教育推進事業の一つとして夏に実施した牧之原市視察で感銘を受けたことや今後の進路選択を考える上で、大きく役だったことを報



告しました。また、報告会に参加できなかった生徒数名からもビデオで本事業に対する感想や成果が報告されました。

校長先生お願いします

校長先生と語る会

可児高校では、五月と十月に生徒会執行部の生徒と校長先生が校長室で話し合いをする機会があります。今回は、一〇月一九日（水）に、後期生徒会執行部の生徒が、活動方針の Refresh 可児高 Flash 可児高生々新鮮で元気のある可児高校に、輝ける可児高生に〜」などを報告した後、学校生活で思っていることや望みを自由に校長先生と語り合いました。学校生活がより豊かで、楽しいものになるよう頑張っしてほしいと思います。



交通安全への意識高めよう

交通講話

日没が早まる一〇月・十一月は交通事故が増える季節です。二一日（金）には可児自動車学校の方に来てもらい交通安全に関するお話や事故のビデオ、反射神経チェックなどで交通安全への意識を高めました。五分に一件の割合で事故が起こっていることや自転車でも重大な事故の加害者にもなりうるということを再認識しました。この講話をうけて、全校生徒から交通安全標語を募り、その中から最優秀作品に選ばれた標語が、来年度の本校の交通安全標語として、正門付近の横断幕に掲示されます。

初めて掘ったよ、長芋

勤労体験学習

三一日（月）に二年生が長芋の収穫をしました。グラウンドの東の狭い土地ですが、昨年三月に芋を植えつけ、勤労体験委員



が毎日水遣りをして大切に育てました。この日は、昨年度植えつけた時の二年次のクラスに戻って再会を喜びあい、みんな無心になってパイプの中を探しました。小さな種芋が大きく成長していることに驚きながら楽しく作業を行い、貴重な体験をすることができました。今年の収穫量は、昨年の七〇kgから一六〇kgと大幅に増え大豊作でした。掘った芋は生徒が持って帰りました。



進路について考えよう

はつらつ講座

可児高校では進路実現の一助として、専門家に仕事や研究などの話を聞く「はつらつ講座」を行っています。一〇月には、二五日（火）に「宇宙から見た地球〜農学の視点から〜」というテーマで名城大学農学部生物環境科学科の田村廣人教授の講義を聴きました。一年生から三年生までの生徒七二名が参加しました。宇宙からの写真を見せながら、地球温暖化についてや、宇宙ステーションでは、動物や植物を使った実験が行われるが、これらは農学の分野であるとか、農学部では、高校で学ぶ数学や物理・化学が大切なのでしっかり学んできてほしいといった話がありました。参加した生徒は、地球温暖化についてより深く知ることができた。温暖化と化学・物理・生物の関わりなどについても話が聞けた。今までより広い知識を得られるようにしたい。」
農学と宇宙は全く関係ないと思っていたが、今回の講座を聞いて、自分の中の宇宙の可能性が広がったように感じた。」など、刺激を受けたようです。



可児高通信

平成28年
10月号

第三七回文化発表会・体育大会

可児高校の第三七回文化発表会・体育大会が、カニタカアモーレ37(みんな)アモーレ」のテーマで九月一日(木)・二日(金)に行われました。一日目は、文化発表会でした。書道部のパフォーマンスで幕を開け、文化系の部活動や委員会が日頃の活動の成果を発表し、体育館では有志による漫才、劇、ダンスなどのステージ発表があり、午後からは体育館で吹奏楽部の演奏を聴いた後、クラス対抗クイズ大会がありました。今年も体験型の出し物が多く、また、スタンプリーで一定数以上の企画に参加すると抽選で景品が当たるということもあって、どの会場も盛況でした。最後の生徒会による「可児高クイズ」では、900文例の正式名称はどれか」全校生徒の人数は」など可児高校に関する問題をクラスで話し合っ一つ一つの答えを出すので、大変盛り上がりました。



二日目は、体育大会でした。昨年は雨天のため一日延期されましたが、今年には好天で猛暑の中、全身全霊で競技に打ち込む生徒の姿は、見ているものに感動を与えました。日差しが強く大変暑い日にも関わらず昨年より八〇名ほど多い七三五名の保護者の方や卒業生が来校され、熱い声援をおくってくださいました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。体育大会のハイライトは、東西南北の四つの団に分かれて全員が踊る軍団ダンスと応援合戦です。どの軍団も統制の取れたダンスを短期間で完成させており、可児高生の集中力・団結力の素晴らしさを感じました。応援合戦も各団の伝統と個性が随所にあふれ、砂煙を上げながら気迫のある一糸乱れぬその動きには圧倒されました。軍団ダンスは東軍が、応援合戦は南軍と北軍が同点優勝を収めました。どの軍も優劣がつけがたく全軍優勝といってもよいと感じました。総合優勝は南軍が連覇を果たしました。生徒達のはつらつとした姿が印象的な一日でした。



また、体育大会や練習での騒音、当日の学校周辺の交通渋滞など、近隣の方々に大変ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

高大連携スーパー講座 名城大学

八月一日(月)に名城大学都市情報学部で、高大連携スーパー講座が行われ、可児高校の一年生一三名が参加しました。高大連携とは、高校と大学が連携して行う教育活動のことです。今年のテーマは、初学者のための応用数学」でした。まず、教室で経済学で実験してみよう」という講義を受け、経済と数学の関係を学びました。昼食は学食でとりまいたが、無料でいただくことができ、生徒も喜んでいました。午後からは、地域作りのフィールドにでよう」という講義で、屋外に出て、大学敷地内の木を切り倒すところを見学するなど、具体的な説明や講義を受け、地域の活性化の大切さを学びました。



夢に向かって 東京 難関大ツアー

八月八日(月)・九日(火)に、一、二年生の一八名が東京の難関大学の見学に行きました。初日は、全員が東京大学の駒場・本郷キャンパスを可児高卒の東大生の案内で見学し、話を聞きました。二日目は、進路希望ごとに、東京外国語大学と電気通信大学に分かれました。東京大学を実際に見て、自分には難しいと思うけれど、目指してみたいと思いた。高いレベルを目指せば、どの道を選ぶ時にも選択肢が増えていくと思うので、今の思いを忘れずに勉強を頑張っていきたいです。」進路の決め方や大学生活など、今まで漠然としていたことが少しずつ見えてきて、本当に行っていたら大きな刺激になりました。



可児高通信

平成28年
8月号

夏の！OPEN エンリッチプロジェクト

今年度も 可児市を良くしていこう」と頑張る大人と一緒に可児高生が考える・働く事を通して将来を展望するプログラムのエンリッチプロジェクト地域課題解決型キャリア教育)に取り組んでいます。この夏、一年生全員が三七のプログラムから自分の将来を考え、選択して参加します。縁塾という学校と地域をつなぐコーディネート団体が中心になり、市役所・市議会・商工会・NPO・市民有志が連携して推進します。七月一五日(金)の 防災まち歩き2016夏」や 自分の人生を自分らしく生きよう！」を皮切りに可児市役所 presents 行政クロスワードゲーム」や 可児夏祭りってどうやって



できてるの」など多彩なテーマで話し合いが行われます。このプロジェクトで生徒一人ひとりの人生がより豊かになり、私たちの住む地域が元気になることを目指しています。

大学を知ろう！ はつらつ大学説明会

七月一五日(金)～二二日(金)の五日間、保護

者懇談会の時間帯を利用し、生徒と保護者を対象にした「はつらつ大学説明会」が開かれました。金沢大学や信州大学、静岡大学など近隣の国立大学や、南山大学や名城大学などの名古屋の私立大学も含めて一



大学から説明に来ていただきました。五日間で二九二名ほどの生徒や保護者の参加がありました。各大学の魅力がよくわかり進路を考える上でとても参考になりました。

新チーム 公式戦デビュー！

七月は、中濃地区高等学校総合体育大会が行われました。可児高校は、三年生が引退し、一・二年生の新チームでの初めての公式戦です。三年生中心の高校も多い中、日頃の練習の成果を發揮して健闘しました。次は、新人戦を目標に練習に励みます。

硬式テニス 男子 団体優勝
バスケットボール 女子 三位
バドミントン 男子 シングルス ダブルス 二位
陸上 女子 八〇〇m 優勝・三位 四〇〇m 三位
走高跳び 二位 走幅跳び 三位
水泳 女子 平泳ぎ 五〇m・一〇〇m 一位

オープンキャンパス 中学生の高校体験

七月二五日(月)～二八日(木)の四日間、中学生の体験入学があり、中学生四六七名、保護者一四六名の参加がありました。スライドを使っている学校説明、模擬授業、可児高生との懇談などがあり、アンケートでは「参考になった」が、中学生・保護者ともほぼ一〇〇%でした。特に模擬授業や可児高生との懇談が好評だったようです。

とても楽しくて分かりやすかった」「ちょっと難しかったけど隣の人と協力して問題が解けて楽しかった」勉強ばかりかと思ったら部活動やいろいろあって楽しそうと思った」挨拶が気持ちよかった」校舎がきれい」などの感想をいただきました。



楽しかった！

東京・富士研修

七月二五日(月)～二八日(木)の三泊四日で、二年生が東京・富士の研修旅行に行きました。初日は、宝生能楽堂で東大に通う先輩の話聞いた後、実際に東大のキャンパス内を散策しました。夜は、ホテルでキャリア教育の一環として四名の方の講演を聴きました。いずれも大変興味深い講演で、時の経つのを忘れませんでした。



三名は可児高校の卒業生で、先輩の素晴らしい活躍は可児高生の励みにもなりました。翌日は、グループごとに企業別研修をしました。普段は見ることができない企業の内部まで見せていただけのもあり、大変充実した研修になりました。研修後は都内を自由散策しました。夜は、スタンプ大会でした。各クラスとも個性的な出し物で盛り上がることができました。三日目は、東京デイズニerlandに受講し、デイズニerlandで働く人たちの心構えや仕事の内容を学びました。四日目は、富士山麓の青木ヶ原樹海のネイチャーガイドツアーに参加しました。富士山の噴火によってどのような生態系ができたのか、どのような生態系ができたのか、どのよう

な生態系ができたのか、どのよう



可児高通信

平成28年
7月号

ベストを尽くしました！

東海高校総体

六月一八日(土)、一九日(日)に、可児市ウエイトリフティング場に於いて、東海高校総体ウエイト子48kg級で石黒真衣さんが、同63kg級で佐藤悠莉さんが優勝しました。さらに、男子94kg級で森川達朗君が2位、女子63kg級で古川舞さんが2位になり、男子69kg級の千葉勇貴君も8位に入賞するなど、出場した生徒全員が入賞を果たしました。



東海高校総体陸上競技は、長良川競技場で行われ、男子四百mハードルに伊佐治昇悟君が、女子五千m競歩に川邊のぞみさんが出場しました。上位入賞とはいきませんでした。東海の高いレベルの中で良い経験ができたと思います。また、大垣競輪場で行われた自転車競技の1kmタイムトライアルに、山内溪太君が出場し、五位入賞を果たしました。まだ一年生ですので、来年はぜひインターハイに出場してほしいです。

六月二六日(日)に長良川スイミングプラザで行われた岐阜県高校総体水泳競技の女子百m平泳ぎで一年の栗山彩さんが八位に入賞し、七月二四日(日)に長良川スイミングプラザで行われる東海大会への出場を決めました。



保護者も大学見学

名古屋大・南山大へ

六月一三日(月)にPTA主催の大学見学会が実施され、昨年度の四六名から大幅に増え一一〇名の方が参加されました。午前中は、名古屋大学へ。可児高校からも毎年多くの生徒が受験する大学であり保護者の方も大学からの説明を熱心に聞いていただきました。その後、構内を自由行動し、学食で昼食をとりました。午後は、南山大学に移動し、大学からの説明の後、三人の学生さんたちから大学生活についての話を聞くこともでき、有意義な時間を持つことができました。



交通規則を守ろう！

一年交通安全教室

六月一四日(火)、可児自動車学校で一年生を対象に交通安全教室が開かれました。本校では自転車を使って通学している生徒が九七%以上います。学校周辺はもとより可児市の自動車・自転車の交通量は大変多く、事故の危険性が非常に高い現状において、学校では交通規則やマナーを守って安全に、迷惑をかけないで登下校するように指導しています。当日は、可児警察署の交通課長さんから「自転車のルールとマナー」についての講話がありました。昨年度道路交通法が改正され、自転車による悪質運転危険行為には、一四歳以上に講習や手数料が義務づけられていることなどの法規を学びました。又、教習車に乗って、ドライバーの目線で、自動車の陰からの飛び出し事故体験や右直事故体験をしました。「事故体



験を通して、二度とこんな思いはしたくないし、させたくないのです。これからはさらに交通安全に気を付けて、一生無事故でいたいです。」という生徒の感想もあり、今後はより一層交通安全に気を配ることができると思います。

PTA役員さん、ありがとう

登校指導

可児高校では、職員が学校周辺の登下校時に危険と思われる一六箇所を定期的に交通指導を行って、生徒の安全意識の向上を図っています。六月一五日(水)〜一七日(金)の三日間は、PTAの役員の方々と職員とで、登校指導を行いました。役員さんは学校周辺の四ヶ所で生徒に挨拶や言葉かけなどとして見守ってくださいました。朝早くからありがとうございます。次回は、一〇月に予定されています。



卒業生と語る会

教育実習

六月一六日(木)から九名の教育実習生の実習がスタートしました。全員可児高校の卒業生です。先生方の授業見学で数日過ぎた後、それぞれ教壇に立って実際に授業を行いました。どの実習生も、緊張しながらも一生懸命生徒に語りかけ、授業を進めていました。六月二七日(月)には、卒業生として、後輩たちに学習方法・進路・大学生活についてアドバイスをする卒業生と語る会が開かれました。後輩たちからの質問に答えてくれました。



七月二三日(土)に岐阜県の教員採用試験があります。一人でも多く合格して、教員になってくれることを期待しています。



可児高通信

平成28年
6月号

青春はっらっつ 球技大会

雨で一日順延となった五月一日(水)、雲ひとつない青空の下、球技大会が行われました。クラス対抗でソフトボール・サッカー・卓球・バレーボール・バスケットボールの五種目が行われました。朝から日差しが強く、真夏のような暑さの中、生徒たちは、真剣な眼差しでボールを追い、はつらつとしたプレーを見せてくれました。試合のないときには、クラスメートに熱い声援を送っていました。試合後は、健闘を讃え合って握手を交わす、実に爽やかで感動的な光景があちこちで見受けられました。また、サッカー・女子バスケットボールの優勝チームと教員チームとのドリームマッチも行われ、授業とは違う先生の姿に声援がおくられました。総合成績で三年の五組と八組が同率で一位となり、二年四組が三位に入りました。勝ち負けにかかわらず、生徒の笑顔が溢れ、球技大会を満喫していました。



順位	サッカー	ソフトボール	バスケットボール		バレーボール		卓球	
			男子	女子	男子	女子	男子	女子
1位	2-5	3-7	3-8	3-5	3-6	3-4	2-4	3-3
2位	3-5	3-6	3-2	2-4	3-8	1-3	1-1	2-1
3位	1-1	2-7	3-4	2-2	2-2	2-2	1-3	1-5



第三一回 可児高校吹奏学部 定期演奏会

四月三十日(土)、可児高校吹奏学部定期演奏会が、可児市文化創造センター「宇宙のホール」で行われ、五〇〇名を超える方々がいらしてくださいました。



第一部は、「さくらのうた」で始まり、「天国の島」の後、中部日本本大会出場曲の「オヴィディウスによる六つの変容」をじっくりと聞くことができました。第二部は、「レミゼラブル」「リトルマーメイドメドレー」「千と千尋の神隠しハイライト」と続き客席も楽しく聴くことができました。第三部は二〇一五年のヒットソング。

「ヒロイン」「糸」「シユガーソングとビターステップ」などで盛り上がりました。三年生は、このステージで引退となりますが、最後を飾るのにふさわしい演奏会になりました。

毎年、この時期に入場無料で行われますので、来年は是非お越しください。



美しい環境も大切 校内一斉美化活動

五月二十七日(金)の七限目に、全校一斉美化活動が実施され、校内のみならず、とれたた広場やKYB駐車場、パチンコ富士駐車場など日頃利用させてもらっている場所も清掃しました。日差しが強くとっても暑い日でした。



たが、生徒はみんな熱心に活動してくれました。周囲が美しくなると、心も洗われるのか清々しい気持ちになり、何事にも意欲が湧いてきます。気持ち良い環境で、これからも勉強や部活に励みます。

部活も頑張ろう！ 高校総体

部活動は一年生も含めて希望制ですが、九四%の生徒が部活動を行っています。四月末〜五月には、三年生最後の大会となるインターハイの地区予選が行われ、可児高生は日頃の活動の成果を遺憾なく発揮しました。テニス(男女)・卓球(男女)・弓道(男女)・剣道(男女)・バドミントン(男)・ハンドボール(男女)・バスケットボール(男女)・バレーボール(男女)・ホッケー(男女)・アーチェリー・ウエイトリフティング・陸上部が県大会に駒を進めました。男子テニス部が団体で県大会三位となったほか、ウエイトリフティング部は県大会で一位が三名、二位が二名、三位が一名と好成績をあげ、そのうち五名が東海大会出場を決めました。また、男子一名はインターハイへの、女子三名は全国女子大会への切符を手に入れました。さらに、本校の部活動にはありませんが、自転車競技で男子一名が東海大会出場を決めました。東海大会や全国大会でも日頃の練習の成果を発揮して頑張ってくださいと願っています。東海・全国大会に出場する選手や野球部以外の三年生はこれで引退し、本格的な受験勉強に入ります。部活動で培った体力・忍耐力・集中力などが大きな力となるでしょう。



可児高通信

平成28年
5月号

入学おめでとう

四月八日(金)、多くのご来賓の方々のご臨席のもと、第三七回入学式を挙行了しました。真新しい制服を身にまとい、希望に満ちた新入生二八一名の一人一人の名前が呼ばれると、力強い返事が響き、高校生活に対する決意の強さが感じられました。将来の夢を叶えるため、学校全体が一丸となって努力していきます。

四月一日(月)には二・三年の生徒との対面式を行いました。代表の挨拶の後、全員で初めての校歌を歌い、可児高生としての一步を踏み出しました。



合格発表

入学生宣誓



新入生を校歌で歓迎

対面式

新入生代表挨拶

おいしい長芋、元気に育ててね 勤労体験学習



三月二二日(火)に一年生が、長芋の種芋の植え付けと椎茸の菌うちを行いました。長芋は細長く掘った土の上に、種芋を入れたパイプを置いて埋めて畝を造り、最後に案内棒をたてました。椎茸は原木にドリルで穴を開け、菌を打ち込みました。初めての作業に、生徒たちは目を輝かせながら、クラスで協力して取り組みました。今後は、勤労体験委員が中心になって毎日水やりなどの管理を行い、一〇月に一年次のクラスに戻って収穫が行われる予定です。おいしい長芋、椎茸がたくさんできることを楽しみにしています。

坪田信貴さん講演 PTA総会

四月二三日(土)にPTA総会が開催され、約六五%の保護者の方が出席されました。総会の前に、映画「ビリギャル」の原作者で、坪田塾塾長の坪田信貴さんが、「子どもの底力を圧倒的に引き出す五つのポイント」という演題で講演してくださいました。「地頭の悪い子などいない」という信念のもと、学習進度の遅れた地点からやり直せば偏差値は三〇でも四〇でもあげることができると力説され、保護者の皆さんはもとより、教職員も大変刺激を受けました。生徒たちにも、うまく還元していきたいと思えます。

選挙に挑戦したよ! 模擬市長選挙

三月二五日(金)に可児高模擬市長選挙が行われました。可児高OBなど三名が立候補し、二月十九日(金)に立会演説会があり、生徒達は各候補のマ



ニフェストを参考に誰に投票するかを考えました。この日は、川上市議会議員さんから、候補者の選び方の観点を教えてもらった後、グループに分かれて、「観光」「教育」「交通安全」「防災」の四つについて各候補者のメリット・デメリットを話し合いました。その後、受付から投票まで、本物を使って本格的に選挙を行いました。当日、試合で参加できない野球部の生徒達には期日前投票を行いました。開票の様子も知ることができました。候補者の選び方を勉強したり、選挙を体験することで選挙を身近に感じることができました。

校外で学び親睦を図りました 校外研修

四月二七日(水)、三学年一斉に校外研修が実施されました。一年生は、花フェスタ記念公園で、オリエンテーリングと大縄跳び大会を行い、クラスの親睦を深めました。二年生は京都大学を見学。卒業生から大学生活などの話を聞き、大学に対する意識を高めることができました。その後、クラスごとに京都を散策し、古都の風情を楽しみました。三年生は、自分の進路希望に応じて、南山大学・名古屋工業大学・名古屋大学・岐阜大学の施設見学や説明を聞き、大学での学習についての理解を深めました。その後は、東山動物園や岐阜県世界淡水魚園水族館で、動物や魚を見て心身を癒しました。各学年とも、充実した実りの多い研修になりました。



大縄跳び大会



京都大学